



表紙 日向十五夜祭りの子ども御輿

9月8日、9日にかけて開かれた日向十五夜祭りでは、子ども御輿が繰り出し、大人に負けないくらい元気よく「わっしょい、わっしょい」と威勢の良いかけ声を上げながら、出店の並ぶ市街地を練り歩きました(11ページに関連写真)。

■特集

運動不足を解消しよう！最近、体を動かしてますか？

■市政の動き

木の香りあふれるまちづくりを／震度6を想定し地震・津波対策訓練／2001消防・救急フェアほか

■まちの話題

財光寺中学校ソフトボール部が全国大会の報告／日向十五夜祭りほか

■インフォメーション

日向之国耳川民俗芸能祭／中小企業財形制度普及促進月間／まちづくり学習会・研修会の講師料の助成／介護相談員の募集など

●夜寝る前のストレッチ



足の裏を伸ばす

- ①両足を投げ出す格好で座ります。一方の脚を曲げ、両手を曲げた脚の裏を包むようにして組みます。
- ②つかんだ脚の裏を伸ばすように、曲げた脚を斜め前方に伸ばしていきます。ひざが伸びきらなくても良いので、自分としては十分に伸ばした位置で、20秒ほど保ちます。反対の脚も行います。

●ウォーキング（歩く）



立ち方

- ①両足のつま先をやや外側に開いて立ちます。両肩の線、胸の高い方の位置の線、両ひざの線をなるべく水平に保ちます。
- ②耳の後ろ、肩の先端、腰側部の大きな骨の頭、この3つの点が垂直になるように立ちます。

歩き方

- ③腕はリラックスし、肩を支点に自然に前後に振ります。最初の2歩で息を吸い、次の2歩で吐きます。スピードがアップしてきたら、最初の4歩で息を吸い、次の4歩で息を吐きます。

●ゆっくりなが〜く走る

ウォーキングに慣れたら、今度は少し走ってみましょう。でも、歯をくいしばって頑張るのではなく、楽しく走ることができる速さで、疲れたら歩いてもかまいません。ゆっくりなが〜く走りましょう。40分が目安です。（体に異常を感じたら医師の適切な診察を受け、決して無理をしないようにしましょう）



特集 ~運動不足を解消しよう~

最近、体を動かしていますか？

近くのお店に、買い物に行くのにも車を利用する私たち現代人。文明が発達するのに伴い、体を動かす機会が少なくなってきました。このような生活環境では、意識して体を動かさないかぎり、運動不足になるのは当然。運動は、健康を維持するための重要な要素です。そして健康な体は、私たちにとって、とても大切なものです。しかしその存在は水や空気のように意外と意識されていないのが現実です。

そこで、今月は気軽に体を動かすことで健康づくりができる運動を、市体育指導委員の3人に紹介していただきます。ぜひ試してみてください、明日からなんて言わないで今からでも……。

●朝のストレッチ

①



②



- ①あお向けになって、まず両足を伸ばしてみて、よく伸びる方から始めます。②伸びのよい方のかかとを、下の方に蹴り出す。8~10回行います。次に反対の脚も同じように繰り返します。



今回運動を紹介していただいたのは市体育指導委員の高野京子さん(右)、伊達宮子さん(左)、赤木保吉さんです(中央)。

●昼間のストレッチ（休み時間などに行いましょう）

足の甲とすねを伸ばす



脇腹を伸ばす →

- ①イスに座って、背中を背もたれにピッタリと付けます。背筋を伸ばし、正しい姿勢を保ちます。右腕を上げ、肘のところで折り、手の先は背中の方に垂らしておきます。左手で、右肘をつかみ呼吸を整えます。②背筋を伸ばしたまま、右肘をつかんだ左手で、右肘を左側へゆっくり引っ張りながら右脇腹をストレッチします。この時、上半身を倒すのではなく、背筋は垂直に保つようなつもりで、脇腹だけ伸ばしていきます。息を吐きながら伸びるだけ伸ばしたら、20秒程度静止します。反対側も行います。

- ① 座ったままで、片脚を前に伸ばす。この脚にもう一方の脚をのせ、つま先とひざを手で持って、脚の甲とすねをジワジワと伸ばします。十分に伸ばしたところで、20秒程度静止します。左右交互に繰り返します。

②



脇腹を伸ばす

市は8月24日付けで「ふるさと
の顔づくりモデル土地地区画事業」
(以下顔づくり事業)の地区指定
を受けました。

指定を受けたのは、日向延岡新産業都市計画事業日向市駅周辺土地地区画整理事業の施行区域、17・6ヘクタールです。

同事業は、昭和62年に創設された国の補助事業で、土地地区画整理事業の各施行地区において、その核となる公共施設・公益施設などを「地区の顔」として位置付け、良好な景観形成と地域のコミュニティ形成に配慮した整備を推進するなど、個性と調和のあるまちづくりの推進を図るものです。日向市においては、財光寺南地区に次ぎ2地区目の指定となります。

9月17日、日向市街なか魅力再生検討委員会(出口近土委員長・宮崎大学工学部助教授)から市に

日向市駅周辺地区ふるさとの顔づくりモデル土地地区画整理事業地区指定

木の香りあふれるまちづくりを

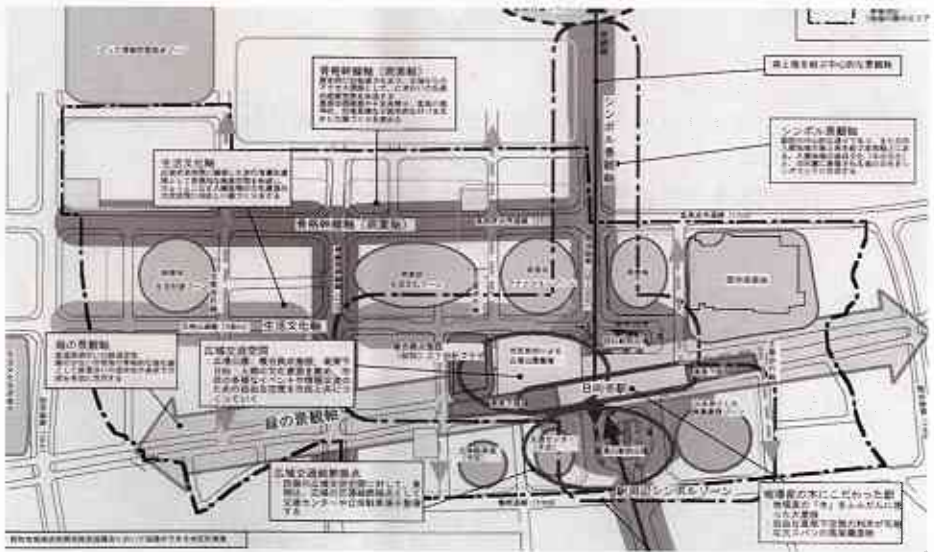
報告書が提出されました。委員会で、これまで①まちづくりの手順や活性化シナリオの再構築②まちづくりの相互調整と実施に向けての基本計画の策定③具体的なまちの景観をイメージする都市空間の整備調整が検討されてきました。

今回、策定された街なか魅力再生計画は、まちづくりにかかる各種事業の進行を積極的に求めながら「街並景観、バリアフリー・ユニバーサルデザイン、木のまちづくり」などを切り口として「市民協働」「広域連携」「市民参加」などをまちづくりの基本に掲げています。

報告は①公共空間の整備②民有空間の誘導等における市民協働③木のまちづくりの総合的施策④バリアフリー・ユニバーサルデザイン⑤まちづくりの情報公開⑥中心市街地活性化事業の推進⑦複合拠点施設(仮称・21世紀プラザ)及び鉄道高架下の利用の検討など7つの項目から構成されています。そこには、日向市駅周辺地区の活性化を実現し、街なかのにぎわ

いの創出・再生という目的を達成するための方針が提言されています。

これまで、市は日向市駅周辺土地地区画整理事業に伴い「顔づくり事業」の導入を検討。日向市街なか魅力再生検討委員会と協議しながら、同地区指定の準備、地区の整備方針を練ってきました。今回、顔づくり事業が地区指定されたこ



とで土地地区画整理事業をベースに、より質の高い、個性あふれる街並みをつくるのが可能となります。

「都市空間形成の整備」の基本方針

本市の中心市街地は、日向入郷地域(1市2町5村)の固有の情報を発信する「地域の顔」「玄関口」としての役割を担っています。

現在、空き店舗が目立ち空洞化している中心市街地は、江戸時代から地域の行政や文化、商業の中心地として栄えてきました。中心市街地を、かつてのように広域から人が集まり、にぎわいのある姿に再生することが大きな目標になります。

中心市街地は今後、駅舎、駅前広場、21世紀プラザなどの公共施設と商業施設などの民有空間が一体となって景観が形成されます。駅前には「木の香り」のする駅前空間がコンセプト。市の「玄関口」として駅前に「杜」をつくることも検討されています。そこは、日向入郷の豊かな自然を象徴

する緑化拠点となります。

「地域の顔の整備」の基本方針 集客・回遊・滞留

「生活文化交流拠点の形成」「市(いち)的にぎわいのあるまち」をまちづくりのテーマに、中心市街地に人を集める仕掛けと、人が回遊する仕掛け、滞留する仕掛けを公民連携によるハードとソフトの両面で行ってまいります。

①山と海と文化がたがなぐ空間づくり②緑にあふれ木の香りとぬくもりのある空間づくり③まちの奥行き、にぎわいが見える「人」が主役の空間づくりがそのコンセプトの大きな柱です。

土地利用の方針 交通結節拠点の形成

駅舎と一体となった駅前広場、高架下施設、複合拠点施設の整備商業ゾーンはパティオ型の商業核により商店街の再編を図ります。地区計

画、建築協定、緑化協定等といった、魅力的な街並みと買い物空間をつくるため、基本的な建築についての一定のルールを適用し街並みの形成を図ってまいります。

公共施設の計画の方針

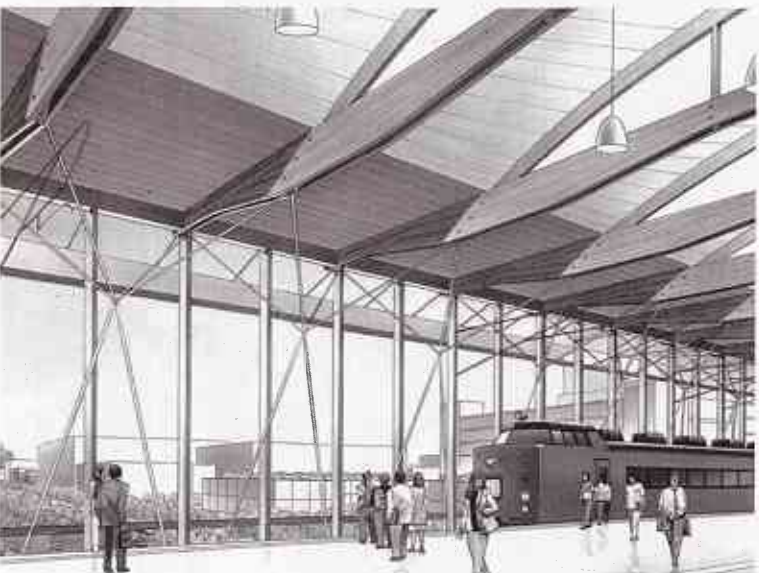
魅力あるまちづくりのためのポイントとなる道路、公園、広場は景観形成を考えた質の高いものに整備し、高齢者、身体障害者などが安心して通行することができるバリアフリーを実現します。

駅舎デザイン

日向・入郷地区の「顔づくり」として、まち全体が「木の文化」を情報発信する駅周辺の街並みを形成するため、その方向性を決定づけるのに重要な駅舎デザインにこだわります。

たとえば、「地場産業の木材」にこだわった駅。地場産業の木材を駅舎の構造材から内装材まで随所に用いることを検討しています。

地場産の木材を用いて、大きな屋根でホームを覆い、「木」のぬくもりのある触覚に包まれた、柱のない空間を持つ駅舎がデザインされています。



鉄道高架と高架下施設の整備

日向市駅周辺土地地区画整理事業が始まるのに合わせて、県が事業主体で行う日向地区連続立体交差事業(Ⅱ鉄道高架事業)が、本年度から着工されます。これは14年度から始まる高架橋建設に先立ち、高架橋の起点部にあたる亀崎川付近と、終点部にあたる文化交流センター付近で、現在の路線を一度、迂回させるための仮線工事を年内に着手するものです。

住民参加の促進

地域特性を充分に反映し、個性をかたちづくることについては、住民の意見が不可欠。事業実施段階から事業終了後の建築活動や維持管理面から住民参加が必要です。

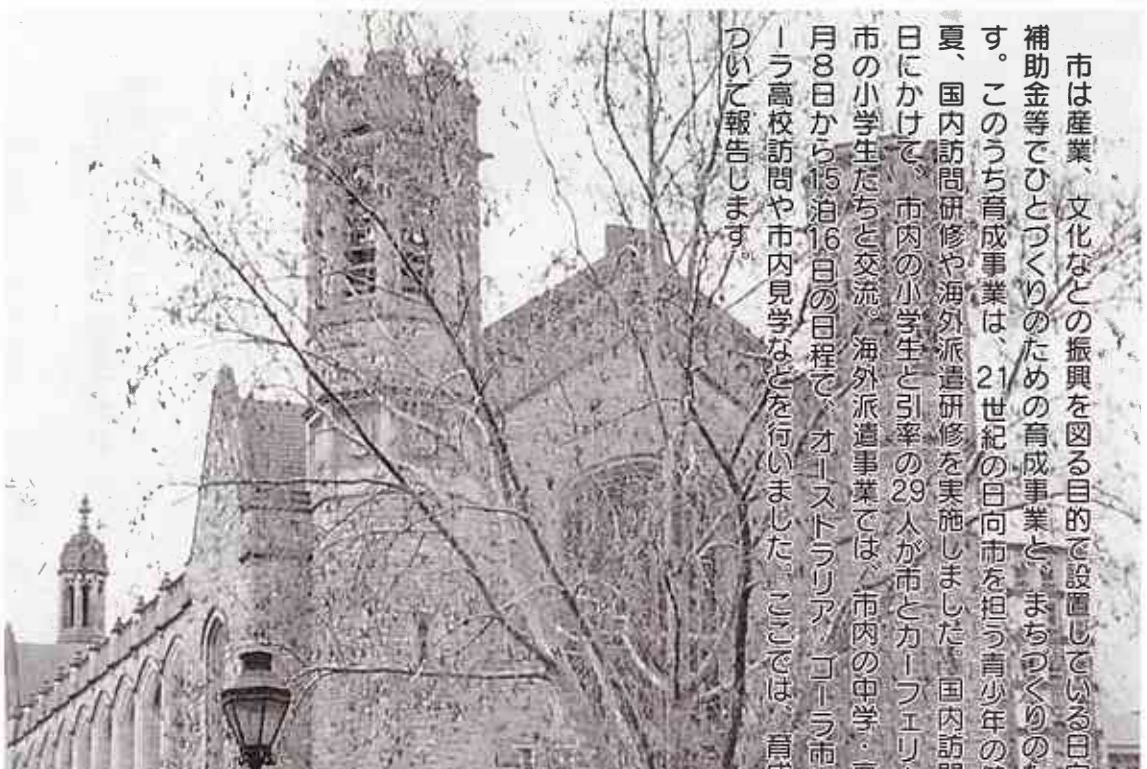
この顔づくり事業で、より一層の住民意見の反映された計画づくりを行うことが地区の個性・魅力をリアリティあるものに高め、住民が愛着とほこりを持つたまちづくりに、さらにはまちの活性化につながると考えられます。

はじまる 日向市のまちづくり

土地地区画整理事業、鉄道高架事業、商業集積を同時に行うことは全国でも珍しく「日向方式」として注目を集めています。三つの事業が本格的に始まる本年度がまさに日向市の中心市街地再生にむけての「まちづくり元年」であり、その成果が期待されています。

15泊16日でゴーラ市を訪問

市は産業、文化などの振興を図る目的で設置している日向市ひまわり基金の運用益補助金等でひとつのつくりのための育成事業と、まちづくりのための助成事業を行なっています。このうち育成事業は、21世紀の日向市を担う青少年の健全な育成が目的です。この夏、国内訪問研修や海外派遣研修を実施しました。国内訪問研修では、7月23日から27日にかけて、市内の小学生と引率の29人が市とカーフェリー「航路」を結ばれている、川崎市市の小学生たちと交流、海外派遣事業では、市内の中学・高校生と引率の10人が、8月8日から15泊16日の日程で、オーストラリア、ゴーラ市においてホームステイし、ゴーラ高校訪問や市内見学などを行いました。ここでは、育成事業のうち海外派遣研修について報告します。



ホストファミリー



授業風景



街の風景



現地高校生たち



市内を案内してくれました

ゴーラ市ホームステイに参加した感想

参加者に感想文を寄せていただきました。紙面の都合により一部抜粋してご紹介します。



大王谷中3年 黒木瑞恵さん

折り紙をお土産に持っていったので、鶴と紙風船の折り方を教えてあげました。ホストファミリーが興味を示して、出来上がったときはとても喜んでくれたので、日本の文化を伝えることができました。言葉が通じなくても心と心で通じ合うのだと感じました。



財光寺中3年 桑田啓介さん

オーストラリアの学校では、お菓子を食べていいけど、掃除の時間がないので、



日向中3年 深城純子さん

ゴミが落ちていて驚きました。今回の研修で両国の文化の違いや、良い面、悪い面も見ることができました。この経験を、自分の将来に生かしていきたいと思っています。



岩脇中3年 河野翔平さん

2週間の間でいろいろな発見をしました。物価が安いことと土地が広いのでほとんどの家が1階建ての平屋ということ、運転免許は16歳で飲酒は18歳からなど。また絶対ゴーラ市へ行くかと思えます。それまでは手紙やEメールで、交流しようと思えます。



富島中3年 荒井正博さん

語にして説明をしてくれました。オーストラリアで来た友達とは、文通などをして、交流を続けたいです。



日向高校1年 黒木綾乃さん

日本へ帰ってみると、出発前の自分の考えの甘さが分かり、ホストファミリーへの感謝の気持ちでいっぱいになりました。「もう一度行きたい」という思いです。ホストファミリーは本当の家族のようにしてくれ、また、日本とは違った自由な生活をうらやましく思いました。



日向高校2年 内田沙英さん

印象に残ったことは、むこうの学校ではすごく自由で皆の個性が強く、自分が思っていることは、はっきり先生、友達に主張するということです。また、ホストの家族全員で家事を助けていました。夕食はよくお父さんが作っていました。



日向高校3年 横山敬子さん

自分の国におけるすべての事を良くも悪くも見直すきっかけとなり、私の心の何かが大きく変わりました。



延岡学園高校尚学 館高等部1年 福田勝正さん

あつという間の2週間でした。帰るのが嫌だったけど、必ず戻ってくる約束として最後の日を迎えました。僕は、かけがえのない友人らと出会い、かけがえのない体験をしました。この経験を、今後の生活に活用していきたいと思えます。共に過ごした友人や先生に感謝します。



財光寺中教諭 原口和代さん

雄大な自然、可愛らしい動物たち、そしておらかなオーストラリアの人々に囲まれ、とても有意義な2週間を過ごしました。同行した生徒たちの積極性、協調性はすばらしく、この研修は彼らの今後の人生に大きな影響を与えてくれるものになったことでしょう。

震度6を想定し地震・津波対策訓練



ヘリコプターでの救助訓練

平成13年度地震・津波対策訓練が8月24日、細島・幡浦地区で開かれました。この訓練は、地震による津波の発生とその危険性を、日頃から住民が認識し、津波の襲来に備えるため開かれたものです。津波情報の素早い、正確な伝達体制の訓練と避難及びその誘導、救護活動などを訓練しました。訓練は同午後5時58分、日向灘北部沖を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、日向市で「震度6」の地震を観測、福岡管区気象台が午後6時に津波予



車の屋根を切断・救出訓練



保健婦による応急手当の指導

報区「宮崎県沿岸」に「大津波警報」を発表したことを想定して行われました。県からの指示を受けた山本市長が、ただちに防災機関、自主防災会に対して「沿岸住民は指定された避難場所へ避難するよう」勧告し、防災訓練が始まりました。警察や消防団員などの指示に従い、住民らが避難を開始。機敏に行動する住民の姿が見られました。また、自力避難ができない人を自衛隊のヘリコプターで救助する訓練も行われました。避難が完了すると、防災会長から市長に報告があり、市長の「訓練終了」の発令と同時に地震・津波対策訓練は完了。この後、商業港岸壁広場では、救急・救護訓練と車両救出訓練がありました。参加者からは救急・救護訓練で、市の保健婦から骨折者の応急手当での指導を受け、話を熱心に聞いていました。地震により走行不能となった車に、閉じ込められた人を救出するという想定での訓練もあり、市の消防隊員と自衛隊員らの見事な救出作業に、見学した参加者から大きな歓声が上がりました。また、消火器を実際に使用しての消火訓練も行いました。

市長随想



山本孫春 16

生涯現役で

9月15日は「敬老の日」でした。わが国の平均寿命は女性が84・62歳、男性が77・64歳とまさに世界一の長寿国になりました。本市で敬老の日を迎えた70歳以上の方は7340人。戦前戦後の過酷な訓練を乗り越え生きてこられた人たちです。そのことが、今日の平和と繁栄につながっていることを私たちは忘れてはなりません。改めて心から感謝と敬意を表したいと思います。

市政も50周年の輝かしい節目を迎えました。「はばたけ日向」に参加・連携・創造の新たな市民意識を盛り上げ「だれもが住んでみたくなるまち」を目標に、さらに躍進しなければなりません。7340人の豊富な知識や体験を生かしていくことが、これからの日向市には不可欠。生涯現役の気概をもって明るく健康やかに人生を過ごしていただきたいと思えます。

2001消防・救急フェア はしご車の試乗に長い列

2001消防・救急フェアが急の日の9月9日、ロックタウン日向で開かれました。この日、一日救急隊長に任命されたのは、三股病院の甲斐けい子さん、千代田病院の柄本佳代さん、和田病院の甲斐千代香さん、日向病院の請関ひとみさん。委嘱式で松本消防長から委嘱状を受け取った4人は、血圧測定や救急の日のPRに努めました。

災パネル展、市保健婦の健康相談などがあり、買い物途中の親子連れが測定に訪れていました。中でも、一番人気を集めたのは、はしご車の試乗。地上20メートルの高さまで上がると、周辺地域が一望でき、子どもたちは大喜び。試乗希望者の長い列ができていました。子どもたちは高規格救急車と救助工作車にも興味津々。消防隊員の作業をじつと見つめています。

市政の動き



はしご車に試乗する子どもたち



空き缶を入れるときは、大人の人といっしょにね



オープンを祝いテープカット

商店街活性化事業・エコステーションがオープン 「きてん」に持ってきてん

まちかど交流クラブ「きてん」に空き缶回収機が設置され、オープン式典が9月1日、同所で開かれました。堀川近雄委員長はあいさつで「地域は生活の場。イベントなどで人のにぎわう街づくりにまい進したい」と述べました。これは、商工会議所商店街活性化事業委員会が昨年度、市の助成を受け、商店街活性化のための空き店舗対策事業に取り組み、市民憩いの場として「きてん」を開設。利用者も多く、とても好評だったため、空き缶回収のための「エコステーション」を設置して継続することになったものです。

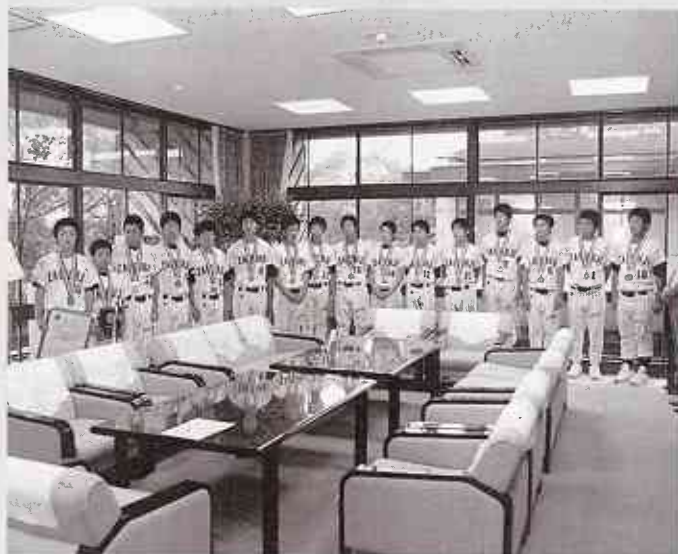


ひまわりスタンプが10枚もらえます

エコステーションに空き缶を持ち込むと「あき缶通帳」にスタンプを押してもらえます。通帳一冊（空き缶50個）につき、ひまわりスタンプが10枚か、またはひまわり市抽選券がもらえます。

2 年連続で全国3位に

財光寺中学校男子ソフトボール部が8月19日から21日にかけて開かれた、第23回全国中学校ソフトボール大会(全国中学校体育大会)で3位になり9月5日、市長に報告を行いました。この日は岡田校長をはじめ、監督、部員18人が訪れました。岡田拓己キャプテンが「私たちは全国3位になりました」と市長に報告。



山本市長に報告するソフトボール部員

「良くがんばりましたね。市民や全校生徒が誇りを持つ実績をつくってくれました」と山本市長が祝福しました。同ソフトボール部は準決勝で、今年3連覇を達成した強豪、高知県の鏡中学校と対戦。大接戦でしたが1対2で惜敗しました。しかし2年連続で全国3位になり、りっぱな成績を収めました。

ドロンコになりがんばりました



親子のふれあいや地域住民の親睦を通して地域の連携、活性化を図ろうと、今年で7回を数える村おこしドロンコフェスティバルが9月2日、奥野地区で開かれました。開会式では黒木浩文さん(奥野)、亨くん(同・塩見小6年)親子が選手宣誓。奥野、中村区から大人と子ども、合わせて150人が参加し、雨の降る田んぼのなかでドロンコになりながらサッカー、ミニバレー、ふうせん割り競争など9つの種目を競いました。

包丁研ぎやまな板削りの奉仕



宮崎県建設産業労働組合日向支部が、9月9日「第24回ふれあい住宅デー」を市内13か所で開きました。これは住宅の耐震相談や補修相談などに応じようと毎年開いているものです。切島山2区公民館横の広場でも、地域の業者が参加して、包丁研ぎやまな板削りなどの奉仕活動を行いました。また、住宅相談の合間には、もちまきなどレクリエーションを行い、地域住民との交流を図りました。

日向十五夜祭りで代官行列が復活



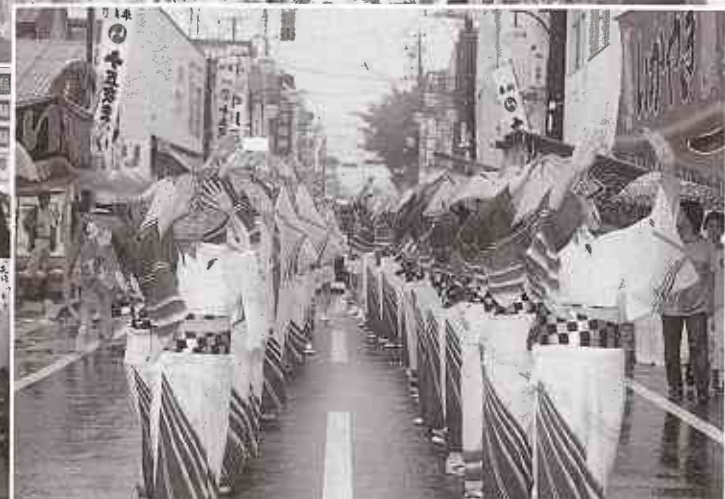
代官行列の先頭を歩く稚児

日向十五夜祭りが9月8日、9日にかけて開かれました。初日は雨に見舞われましたが、市職員による舞踊隊70人が祭りを盛り上げようと商店街を踊り歩き、祭りに花を添えました。祭りでは、見立て細工やミス十五夜のパレード、ゴリラの屋台などの催しがあり、訪れた約4万人の観客を楽しませました。今年も代官行列が復活し、市内から募集したかわいらしい稚児を先頭に、代官に扮した山本市長、役人や庄屋などに扮した弓削市助役、日高商工会議所会頭、松本市議会副議長らがミス十五夜と中心商店街を練り歩き、沿道から盛んな拍手を浴びていました。

■広報紙に掲載された写真を差し上げます。希望する人は、市総務課(☎内線2234)まで。



不景気はこりゴリ・ラと書かれた屋台



富高八幡神社の御輿(左上)
復活した代官行列、中央は山本市長(左下)

ミス十五夜のパレード(右上)
市職員による舞踊隊(右下)

情報伝言板

「情報伝言板」は、皆さんの自主的な活動を応援するコーナーです。サークル活動などの会員募集やイベントなどの情報をお寄せください。営利や政治・宗教活動を目的としたものはお断りします。

原稿は、毎月1日までに市総務課(☎内線2234)へ。ただし、紙面のスペースの関係上、掲載できない場合があります。

■「耳川源流域を訪ねる集い」参加者募集

◇日時=10月27日(土)~28日(日)、8時30分出発、翌日午後4時帰着予定。◇場所=椎葉村尾前、上椎葉、東郷町中の原、市内権現原◇内容=毎日使う水の源を紅葉の椎葉尾前に訪ね、源流域石碑除幕式に参加し、幻の源流域を訪ねる。また、市水道施設を見学する。◇参加料=バス賃無料、宿泊代6000円(小学生4000円)◇申し込み=10月15日まで(先着50人)。各公民館に申込用紙が置いてあります。「日向市ふるさと自然を守る会」(☎・☎53-0927)大野へご連絡ください。

■富田富士也先生の講演と親子のためのワークショップ

◎講演◇講師=富田富士也さん(千葉明德短期大学客員教授・若者の悩みに取り組むカウンセラー)◇演題=「還(かえ)る家をさがす子どもたち」◇日時=11月9日(金)午後7時~午後9時◇場所=中央公民館◇参加費=500円(託児所有り・要予約・500円)◎親子のためのワークショップ「言葉でなく気持ちを聞くQ&A」◇日時=11月10日(土)午前10時~12時◇対象者=現在、不登校、引きこもりで悩む保護者◇場所=日向保健所◇参加費=1人、1000円◇定員=30人◇問い合わせ=講演・ワークショップともに富島高校、西田さん(☎52-2158)か日向高校、牧野さん(☎54-3400)まで。

市制施行50周年記念事業 「はばたけ!日向」~参加・連携・創造~

『市民自主企画運営事業』の紹介

■映画「ガイアシンフォニー」(地球交響曲)上映
◇日時・場所=10月28日(日)中央公民館ホール1回目上映13:00~、2回目上映18:00~◇内容=地球の未来へ6人の人々がメッセージを送るオムニバス映画です。入場料500円(幼児以下無料)◇問い合わせ=ひまわり笑顔の会事務局(鴨林☎52-4778)

『市企画運営事業』の紹介

■「森と川と海のフォーラム」のご案内
◇開催日=平成13年10月18日(木)◇場所=中央公民館、文化交流センター交流広場◇内容=10:30~交流会(郷土料理サービスコーナー、物産展ほか)アトラクション(伝統芸能、コンサートほか)13:10~研究・意見発表(日向・入郷圏域から3人)13:40~パネルディスカッション(日向・入郷圏域からパネリストとアドバイザー各5人による討論、コーディネーターはMRTの榎元洋氏)15:30~映画「筑後川」上映(耳川文化の会主催、無料)◇その他=児童生徒による絵画展、環境保全展◇問い合わせ=実行委員会事務局(市企画課☎内線2219)

図書館 ア・ラ・カ・ル・ト

図書館まめ知識②「図書館のあゆみ」

<国立国会図書館>1872年9月、東京湯島に書籍館が開館~1986年11月-国立国会図書館新館開館◇1999年3月末-蔵書数7,312,178冊-平成11年度図書館所蔵統計(第1種資料)より-<県立図書館>1902年5月-私立宮崎日州教育会附属図書館を移管して創立~1988年5月-現図書館開館◇2001年3月末-蔵書数611,543冊<日向市立図書館>◇1972年3月-勤労青少年ホームに図書室設置-蔵書数6,731冊◇1977年6月-新館(本町)開館-蔵書数14,207冊◇1997年1月-新館(春原町)開館-蔵書数45,000冊◇2001年8月末-蔵書数83,678冊

声 VOICE

ぼくたち わたしたちの



園田泰隆さん(44歳・原町出身)

今月は、去る6月に開催された世界アマチュア囲碁選手権戦宮崎大会で、日向市ふるさと大使で東京にお住まいの園田九段に、日向市のことや碁の魅力についてお話をうかがいました。

『静心』

囲碁を始めたのは10歳のときで、父が開いた碁会所が上町にあつて、よく大人の方と碁を打っていました。中学で木谷先生の内弟子として入門するため上京しましたから、子どもの頃の日向の思い出というとかすかにしかとどめていないのが正直なところ。こんなに自然がふんだんにあつて都会暮らしの者にとつてはうらやましいことです。

現在、毎年日向で開催される「日向はまぐり碁まつり」へは、ゲストとして参加しています。参加されるアマチュアの方からは、本物のまぐり碁石とかや碁盤が使える大会として好評のようです。この大会を、観光面に結びつ

けようとすれば、対局の終わった参加者が、すぐに帰ってしまうので、観光ツアーなどでもつと日向を楽しんでいただけるといいのではないかと思ひます。

ところで、どうしたら碁が上手になるかと聞かれるんですが、何事もそうなんだろうが一夜漬けてはだめだということ。勝負というものは、勝つても負けても自己責任で、特に対局に負けた時には、自分が弱いから負けたわけですから、いかに同じ失敗を繰り返さないで今後活かしていくかというところが大切だと思います。

プロを目指す方はともかく、アマチュアの方は、楽しむことが上達の秘訣でしょうね。私にとつて、碁の魅力は、碁盤の上で自己表現が自由にできることですが、これから碁をされる方は何か楽しみを見つけて続けていただきたいと思ひます。また私の好きなことばは、「静心」「平常心」です。これは対局でいつも自分に言い聞かせていることで、これをキープしておくことはなかなか難しいので、これからは修行していこうと思ひています。

最後になりますが、碁を通じて日向のお手伝いをしていきたいと思ひますので、いつまでも魅力あるふるさとであつて欲しいと思ひます。

田崎 柚香さん(19歳:切島山2)

映画を良く見ますね。この前、友達と「千と千尋の神隠し」というアニメを見てきました。良かったですよ、感動しました。運転免許を取ったばかりです。運転が上達したら、遠出したいですね。



いきいき 青春トーク

このコーナーでは、みなさんの近所の若者や職場のホープを紹介しています。紹介したい人がいるかたは、市総務課(☎内線2234)までご連絡ください。なお、自薦、他薦は問いません。ご連絡をいただいた人は、広報係が写真を撮りにうかがいます。



高橋 由典さん(28歳:本町)

家業の生花店を手伝って6年になります。街なかの人通りがさびしいので、にぎわいを取り戻したいと思ひます。人が集まるような場所をつくってほしいです。

おひらき

日向之國耳川流域民俗芸能祭

日向・入郷圏域の民俗芸能を披露します

- ◇日時 10月14日(日) 午後12時30分～3時30分
- ◇場所 文化交流センター
- ◇内容 近隣地域の豊かな恵みと人材の交流に支えられた日向市と東臼杵南部町の民俗芸能を一堂に披露します。
- ◇入場料 無料(要整理券)
- ◇問い合わせ 文化交流センター (☎ 54-6111)

中小企業者勤労者財形制度普及促進月間

利点があります 中小企業財形制度

10月は「財形制度普及促進月間」です。財形制度には次の利点があります。ぜひご利用ください。

- ◇事業主の利点 福利厚生が充実し、優秀な人材の確保、従業員の定着を高めるのに役立ちます。

◇勤労者の利点 ①給与天引きで知らず知らずたまります。②財形年金貯蓄と財形住宅貯蓄は、合わせて550万円まで利子等非課税です。③低利の住宅融資などが受けられます。

◇問い合わせ 宮崎県労働政策課労働福祉係 (☎ 0985-26-7562)

高齢者の住まいの不安をなくします

高齢者の居住の安定確保に関する法律に關する法律が4月6日公布され、一部を除き8月5日から施行されました。これは、高齢社会に対応し、高齢者が安心して生活できる住まいを確保するため、次のような制度によって、高齢者向け民間賃貸住宅の供給と市場整備を支援するのが目的です。

- ◇バリアフリー化された高齢者向けの民間賃貸住宅の供給を促進
 - ①民間事業者の取り組みを支援する高齢者向け優良賃貸住宅制度
 - ②既存住宅を購買し優良賃貸住宅とするため、入し優良賃貸住宅とするための住宅金融公庫融資の特例(一括償還型バリアフリーリフォーム融資制度)

日向市中小企業特別融資制度が見直されました

日向市中小企業特別融資制度は、市と金融機関が一定の資金を出し合い、宮崎県信用保証協会の保証付きで、金融機関が市の定める融資条件で市内の中小企業者に融資する仕組みになっています。

資金用途	事業の経営上必要な運転資金、または設備資金	融資利率	年2.4%
融資限度額	一企業500万円以内	保証料	年0.75% (市が全額補助)
融資期間	設備資金 72月以内 運転資金60月以内、3か月据置制度あり	担保及び保証人	担保・・・なし 保証人・・・1人以上

※詳しくは、日向商工会議所 (☎ 52-5131) または市商工観光課 (☎ 内線 2634) へ。

日向市 情報公開制度 Q&A ②

Q 情報公開制度を実施している「市の機関(実施機関)」はどこですか。

A 市長部局、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会です。

Q 開示の対象となる「公文書」は、どのようなものをいいますか。

A 平成12年4月1日以降に、実施機関の職員が職務上作成し、又は取得した文書、図画、写真及び電磁的記録で、実施機関が保有しているものをいいます。



油津海上保安部からお知らせ

細島灯台を公開します

11月1日(木)は、灯台記念日です(13周年)。油津海上保安部では11月4日(日)に細島灯台の一般公開を実施します。先着100人にパーククラフトの型紙をプレゼントします。ぜひ、ご来場ください。

◇日時 11月4日(日) 午前9時～午後4時

◇内容 ①灯台内部の公開 ②ホームページの紹介 ③灯台機器の展示 ④県内の灯台の写真展示 ⑤灯台のパーククラフトの展示

◇問い合わせ 油津海上保安部 航行援助センター (☎ 0987-22-3264) まで。

ひまわり塾公開講座のお知らせ

萩原茂裕さん「まちづくり講演会」を開催

「自分のところにあるものを好きになり、自慢できるようにすることが大切」

10月の納期

国民年金保険料 10月分
国民健康保険税・介護保険料 第5期
固定資産税・市県民税 第3期
納税で住みよいくらしまちづくり

と本県はもとより、全国各地のまちづくりに参画して「まちづくりの花咲翁」などと呼ばれている萩原さんの気迫のこもった講演です。

みんなで、わがまちの宝物を探そう!多くのご参加をお待ちしています。

◇日時 10月20日(土) 午後1時～4時30分

◇場所 日向市中央公民館小ホール

◇講師 萩原茂裕さん(日本ふるさと塾主宰)

◇テーマ 「まちづくりはひとづくり、わがまちの宝物を探そう!」

◇問い合わせ 市企画課地域振興係 (☎ 内線 2218)

ねんきん何でも Q&A

Q 国民年金保険料の後期納付書について教えてください。

A 国民年金保険料を納付書で納められている人については、後期(10月分から翌年3月分)の納付書を送付します。お近くの金融機関などで納付してください。また、納付書に口座振替依頼書のはがきを同封しています。口座振替にすると納め忘れがないので便利です。口座振替のご利用を希望される人は必要事項をお書きの上、市年金係まで返送していただきますようあわせてお願いします。

税金一口メモ

バイクや軽自動車を下取りに出したり、人に譲ったり、廃車したときは、早めに手続きをください。そのままにしていると、いつまでも軽自動車税がかかります。125CCまでのバイク・農耕用小型特殊は市役所税務課で、126CCから250CCまでの二輪車及び軽自動車は宮崎県軽自動車協会で、251CC以上の二輪車は宮崎県陸運支局で手続きすることとなっています。なお、自賠責保険・共済に加入しないで運転すると、免許停止となり罰金等が課せられますので必ず加入しましょう。

あなたとわたしの 男女共同社会

7月1日に文化交流センター小ホール棟2階に移転・開設した日向市男女共同参画社会づくり推進ルームの名称が決まりました。たくさんの方々の応募の中から選考の結果、村上喜美子さんからご応募いただいた「さんびあ」に決定しました。「さん」は太陽、「びあ」はとびあの広場の意味。この名のおり推進ルームが市民の方々の活躍・交流の場になってほしいと願っています。皆さんからのご応募ありがとうございました。

10月の相談

- ◇交通事故巡回相談
 - とき 10月19日(金) 10:30～14:30
 - ところ 中央公民館
- ◇法律相談(要予約)
 - とき 10月11日(木) 10:00～15:00
 - ところ 社会福祉協議会 (☎ 52-2572)
- ◇人権・行政相談
 - とき 10月17日(水) 10:00～15:00
 - ところ 細島公民館
- ◇年金巡回相談
 - とき 10月9日(火) 10:00～15:00
 - ところ 青少年ホーム
- ◇心身障害者相談
 - とき 10月9日(火) 10:00～12:00
 - ところ 身体障害者センター (☎ 52-5434)
- ◇市民の声ポスト
 - 市は、市政に対するみなさんご意見・ご要望等をお聞きするため、市民の声ポストを庁舎玄関に備え付けています。どうぞ、ご利用ください。

市制施行50周年記念事業 「結婚50周年を祝う会」の 参加者を募集します



市は市制施行50周年にちなみ、めでたく結婚50周年の金婚を迎えられたご夫婦を祝福するため「結婚50周年を祝う会」を開催します。

戦中戦後の激動の時代を過ごされ、長きにわたり郷土をつくり上げてこられたご夫婦が、仲良く元気にご活躍いただけますように祝福するものです。

次のとおり参加者を募集しますので該当するご夫婦は、ぜひご応募ください。

- ◇対象＝昭和26年4月1日～昭和27年3月31日の間に結婚し、現在日向市内に在住のご夫婦。
- ◇開催日時＝11月29日(木)午前11時～午後1時30分
- ◇場所＝ベルフォート日向 サンバンケットホール
- ◇参加費＝無料
- ◇申し込み・問い合わせ＝市企画課(☎内線2216)まで。

行政書士無料相談

宮崎県行政書士会では、10月の行政書士制度強調月間中に、無料相談を行います。ぜひご利用ください。

- ◇期間＝10月1日(月)～10月31日(水)
- ◇場所＝各県内行政書士事務所
- ◇問い合わせ＝宮崎県行政書士会(☎0985-24-4356)

日向現代彫刻展 2001

今年で11回目の「日向現代彫刻展」を開催します。日向岬の大自然を背景に、全国各地から25点の作品が集まります。ぜひご来場ください。

- ◇会期＝平成13年10月14日(日)～11月10日(土)
- ※10月14日(日)11:00よりオープニング、あわせて'97日向現代彫刻展大賞「無題」とのお別れ会も行います。
- ◇会場＝日向岬グリーンパーク
- ◇問い合わせ先＝日向現代彫刻展実行委員会事務局(市社会教育課内、☎内線2425)

<協賛行事>

前夜祭は日向第一ホテル、その他は日向岬グリーンパークです。

行事名	日時	内容
前夜祭	10月13日(土) 18:30～	全国各地の現代彫刻家25人が集まります。市民みんなで歓迎しましょう。
市民ふれあいウォーキング～米の山を歩こう～	10月14日(日) 8:30～10:50	グリーンパークから米の山等、約2時間のコースを秋の風を受けながら歩いてみませんか?
市民お別れ会～ありがとう! 「無題」～	10月14日(日) ※オープニング終了後	'97彫刻展大賞作品「無題」とのお別れ会です。※だんご汁を振舞います。
作品説明会	10月21日、28日、11月3日、4日	宮崎彫刻グループによる作品説明会。14:00～15:00
市民ふれあいランド・ゴルフ祭	10月21日(日) 8:30～	社会体育課※雨天時は10月28日(日)に延期。
日向市に木ポイントを創ろう!	10月28日(日) 10:00～15:00	あなたも私も芸術家・巣箱の制作や自由工作を楽しもう!
月写日向岬石魂彩芝舞台(つぎつひのむかみさきいしたまいろどるしほぶたい)	11月3日(土) 17:30～20:00	秋の夜、月明かりの下で彫刻鑑賞はいかがですか。
フリーマーケット	11月4日(日) 10:00～15:00	芸術鑑賞と買い物と一緒に! 楽しいですよ。
響座公演	11月4日(日) 14:30～	大声大会12:30～魚のつかみ取り13:30～も実施します。※焼肉出店等11:00～
表彰式	11月11日(日) 10時～	彫刻展大賞(審査員)、市民大賞(来場者による投票:11月4日正午締切)受賞者を表彰します。

日向市ひまわり基金助成事業
助成します! まちづくり
学習会・研修会の講師料
事業では、まちづくり活動



女性のための何でも相談
始まりです
女性のための相談業務
女性のための何でも相談
女性による総合相談業務を
11月1日から開始します。
女性が抱える悩みや問題、
疑問や私の提言など、専任
の相談員が問題解決のお手
伝いをします。お気軽にご
相談ください。

- ◇相談日＝毎週木曜日
- ◇時間＝午後1時30分～4時
- ◇場所＝男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんびあ」(文化交流センター小ホール棟2階 ☎50-0300)
- ◇問い合わせ＝企画課女性行政担当 ☎内線2220

への助成を行なっています。今回、学習会・研修会を実施する団体・グループへ講師料を助成することになり活動を支援することになりました。ぜひ、ご活用ください。

- ◇助成金の対象経費＝まちづくりに関する学習会・研修会の講師・指導者への講師謝金(限度額 ¥50000円)
- ◇対象・募集団体＝団体、市民10人以上のグループ。ただし、市などから同様の助成金や運営補助等を受けている団体は除きます。
- ◇募集団体・グループ数＝6団体
- ◇募集期間＝10月1日(月)～随時受付
- ◇申し込み方法・交付方法＝①事業実施の1か月前に交付申請書を提出してください。(様式第1号)②本事業推進協議会で審査を経て決定し、申請者へ通知します。③事業実施後、実績報告書(様式第3号)を提出してください。
- ④その後、助成金が交付されます。
- ◇問い合わせ＝市企画課地域振興係(☎内線2218)

介護相談員派遣事業
募集します!
熱意ある介護相談員
市では、介護サービス利用者の疑問や不安を解消

中小企業優良従業員の表彰
優良従業員を推薦してください
市は、中小企業優良従業員の表彰を行います。
◇表彰基準＝①業務に精励し技能ともに優れ、市民の模範となる人②市内の商業に勤務する人で、同一事業所に満15年(20人以下の事業所は満10年)以上勤務している人③事業主の三親等内の関係のない人④これまでにこの表彰を受けていない人
◇推薦方法＝市商工観光課または日向商工会議所へ10月31日までに推薦書を提出してください。推薦数は、常時雇用する従業員が50人未満の場合は1人、100人未満の場合は2人、100人以上の場合は3人。
◇問い合わせ＝市商工観光課(☎内線2635)または日向商工会議所(☎52-5131)

募集人員＝6人
任期＝2年
申込締切＝10月19日(金)
申込・問い合わせ＝高齢者あんしん対策室介護福祉

し、介護サービスの質の向上を図るため、利用者及び家族の話を聞いて相談に応じる「介護相談員派遣事業」を実施することになりました。この相談員を次のとおり募集します。
◇対象者＝①ボランティア精神があり、高齢者福祉に対し情熱がある人②2週間に1回程度介護サービス施設等を訪問し、相談活動ができる人③の研修への参加ができる人(11月6日～9日/12月12日から13日/北九州市)

平成14年度の助成事業の募集を行います。
◇助成の対象事業＝高齢者や障害者の在宅福祉、生きがい・健康づくり、青少年の非行防止や健全育成、障害者スポーツの振興などを
行なうもの。
◇対象団体＝公益法人、社会福祉法人、NPOのほか法人格のない民間団体等
◇問い合わせ＝社会福祉・医療事業団基金事業部振興第一課、第二課(☎03-438-9946)

産業教育フェア延岡・日向・西臼杵地区大会
「味かせよう、みんなの心と未来の技術」

【会場】日向市文化交流センター(入場料無料 駐車場有)
【期 日】平成13年10月23日(水) 10:00～15:00
【参加高等学校】高千穂高校 花岡工業高校 花岡商業高校 延岡第二高校 門川農業高校 富島高校 日向工業高校
【お問 合 せ】日向工業高校 産業教育フェア大会事務局
TEL 0982-57-1411 FAX 0982-57-2146

あこやかひろば



山中 七海ちゃん
清春・美由紀(山下)



中上 徹大くん
威・明美(駅通り)



児玉 幸菜ちゃん
勝則・由美(住還)



新名 孝康くん
康二・日枝(曾根2)



黒田 篤史くん
貴幸・信子(曾根1)

乳幼児健診

- 3か月児健診 = 日時/10月12日(金)、26日(金)、対象/平成13年7月生まれ
 - 7か月児健診 = 日時/10月19日(金)、対象/平成13年3月生まれ
 - 1歳児健康相談 = 日時/10月2日(火)、対象/平成12年9月生まれ
 - 1歳6か月児健診 = 日時/10月11日(木)、対象/平成12年3月生まれ
 - 3歳児健診 = 日時/10月5日(金)、対象/平成10年3月生まれ
- ※受付時間は、3か月児・7か月児/午後1時～1時30分、1歳6か月児・3歳児/午後1時～2時、1歳児/午前9時30分～10時です。母子健康手帳を忘れずに、市民健康管理センターへ。

すくすく教室

- ◇日時 = 10月30日(火)午後2時～午後3時30分
- ◇対象 = 生後6か月までの乳児を育児中のお父さん、お母さん
- ◇内容 = ①栄養士との離乳食作り・試食、②体重測定・身長測定、③赤ちゃんの健康相談、④ママやパパ同士の交流会など。

- ◇会場 = 市民健康管理センター
- ◇持参するもの = 母子健康手帳
- ※予約・参加料は、必要ありません。

すくすくOB教室

- 市は、生後6か月以降の乳幼児と保護者の仲間づくりの場所として、市民健康管理センターを開放しています。
- ◇日時 = 毎週火曜日午後2時～3時30分
- ◇対象 = 生後6か月以降の乳幼児と保護者
- ◇内容 = 自主的な交流会

パパママ教室

- ◇日時 = 10月28日(日) 午前10時～12時
- ◇対象 = 出産を迎えるパパとママ
- ◇内容 = 赤ちゃんのおふろの入れ方、妊娠疑似体験
- ◇会場 = 市民健康管理センター
- ◇申込方法 = 開催日の1週間前までに氏名、連絡先を市民健康管理センター(☎内線2184)までご連絡ください。

原爆被爆者二世検診の実施について

- ◇対象者及び健診期間
両親のどちらかが被爆者健康手帳を所持している人で、健康診断を希望する人。ただし、受診希望者が多数の場合は、未受診者、異常を訴える人を優先とします。平成13年11月から実施予定ですが、詳細は後日受診希望者に通知します。
- ◇申込方法 = ①本人の氏名(フリガナをつける)、住所、生年月日、電話番号、過去の受診歴(年度及び受診結果を記入すること) ②親の氏名、住所、電話番号、被爆者健康手帳の番号を明記の上、封書で申し込んで下さい。
- ◇申込先 = 宮崎県福祉保健部保健業務課疾病対策係(〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号 ☎0985-26-7079)

40歳からの健康週間

10月8日から「40歳からの健康週間」です。健やかな老後を実現するためには、壮年期からの生活習慣の確立が大切です。自分に適した運動や食事を生活の中に取り入れて生活習慣を改善し、積極的に健康づくりに励み、人生80年代を「あなたの健康、日本の元気!!」を合言葉に、いつまでも若々しく元気にすごしましょう。

健康の自己管理のひとつとしては、健康診査の定期的受診等も重要です。市は市内医療機関で各種検診を実施中です。広報ひゅうが4月号に実施医療機関の一覧を掲載しています。ご不明の点は市民健康管理センター(☎内線2184)または、かかりつけ医におたずねください。

10月の献血日程

3日(水)	日向市役所	9:30~16:00
4日(木)	県北輸送サービスセンター	9:30~15:30
	九電工日向営業所	16:00~18:00
5日(金)	日向市消防本部	8:30~10:30
	日本ホワイトファーム	12:10~14:00
	三股病院	14:30~16:00

10月の休日在宅医

※事前にテレホンサービス(☎53-1214)で確認を!

7日	三股病院(内・外・整外・胃腸・麻酔☎58-0034) 尾崎眼科(眼☎52-5600) 今給黎医院(内・循環☎54-2459) 寺尾医院(産☎63-1447)
8日	渡辺病院(産婦・泌尿☎57-1011) 天生堂医院(内・整外・麻酔・リハ☎53-8910) こどもクリニックたしろ(小児☎56-1515) 日向内科(内・小児・胃腸☎52-0880)
14日	千代田病院(内・外・整外・胃腸・リハ・皮・放・麻酔☎52-7111) 柳田医院(産婦☎52-2950) 瀧井病院(内・精神☎52-2409)
21日	二木医院(産婦・外・胃腸☎54-4468) 協和病院(精神・神経☎54-2806) 吉田クリニック(内・循環☎55-0770)
28日	鮫島(整)医院(整外☎52-8191) 吉森医院(内・胃腸・循環・呼吸☎52-4046) 医心内科(内☎55-0157)

減塩料理講習会

生活習慣病は食事で防ぐことができます。塩分控えめでおいしい料理をつくりませんか。

市は、地区の公民館で料理講習会を開きます。メニューは魚のみぞれかけ・白和えのビーナス風味・昆布の佃煮和え・スピードポテトです。

◇参加費 = 無料
◇問い合わせ = 市民健康管理センター(☎内線2183) またはお近くの食生活改善推進員(ヘルスメイト)まで。

24時間子育て

テレホンサービス
☎53-5857
日向市保育協議会



10/1(月)	よい健康の習慣をつけよう (1)適正な時間に起きる (2)朝起きた時間に排便 (3)日光によくあたる
10/7(日)	
10/8(月)	食事のしつけ (1)食事のお手伝い (2)食事のマナー (3)楽しい雰囲気
10/14(日)	
10/15(月)	赤ちゃんの食事 その2(5か月～1歳頃) (1)「ごっくん」と飲み込む練習 (2)離乳食の進め方 (3)味覚の発達には判断力の基礎を作る
10/21(日)	
10/22(月)	家族関係について考える (1)親は子どもの心のふる里 (2)好ましい親子の関係 (3)祖父母との関係と兄弟げんか
10/28(日)	

※認可保育園において、毎週水曜日の午前中に園庭開放を行なっています。お問い合わせはお近くの保育園へ。

8月中の交通事故

日向市分	() 内前月比
人身事故 死亡 負傷者 物損事故	
52件 1人 69人 97件	
(+2) (+1) (+10) (-11)	

～止まって確認！無事故に挑戦～

日向市の人口と世帯

(H13.9.1.現在)

人口	59,025人	〈-31〉
男	27,773人	〈-11〉
女	31,252人	〈-20〉
世帯数	21,946世帯	〈+28〉
転入	218人	転出 273人
出生	57人	死亡 33人
面積	117.43km ²	

郷土の歴史

シリーズ24
ひよっこ踊り伝説

市制施行50周年記念日向市史編さん事業

あふれて来ました。

昔（江戸時代の初め）、塩見の永田村に、佐太郎という樵（きこり）のお爺さんが住んでいました。ある日、お爺さんが仙塔庵という山で作業をしていたところ木材が倒れて谷間に落ちました。運の悪いことに、ねぐらで昼寝をしていた白狐にその木材があたり、大怪我をしまいました。狐は「キャン、キャン」と鳴きな

がら谷の方へ逃げて行ったそうです。佐太郎爺さんは、悲鳴をあげ、うしろを振り向きながら、谷の中へ消えて行った狐の姿が可愛想でたまりません。

お爺さんは、仕事を中止して家に帰りお婆さんにこの事を話しました。すると、「爺様、お前さんが悪いのじゃないよ。そんなに悩んでも仕方がないよ」とお婆さんは優しく慰めてあげました。

それから数日後、この村に異変が起こり始めました。田・畑は不作が続き、永田村の家々では連日の様に不幸不運が度重なってきたのです。そこでお爺さんは、お婆さんと相談して近くの神社に神詣でに行き、神主に過日の出来事を詳しく話して、神様のお告げを受けることにしました。

神様は、白狐に、どうすれば良いか尋ねたうえで社祠を造るよう告げました。お爺さんは、早速、村の衆と相談して祠を造り、稲荷神社として祀ってあげました。

しばらくすると、次第に村が繁盛し始め、村の衆の明るい笑顔が

今日ではすっかり市民に定着した「日向ひよっこ踊り」

市史編さん室(市内線2236)では、日向の歴史に関する皆さんからの情報をお待ちしています。

参考資料
(高橋家のピーヒョロ伝説資料)

その素振りがとてもひょうきんで愛嬌があり面白いので、江戸時代の初期から永田稲荷神社の神楽として踊られてきたと言う伝説が残されています。特に赤の着物は、昔から繁栄と活力をつける力色(りきしよく)と言われているそうです。

こちら編集室



朝夕が肌寒くなってきた、すっかり秋めいてきましたね。薄着で寝ていると朝方、目が覚めてしまします。さて、広報ひょうが10月号をお届けします。運動を始めるにはびつたりの季節ですね。今月の特集が、そのきつかけになつていただければ幸いです。そして健康づくりに役立てていただけるなら、軽い運動から始めればきつと続けられるはずですよ。そうすれば、来年の運動会は大活躍できるはずですから・・・そう思いませんか。

広報 ひょうが

平成13年10月号

■編集/日向市役所総務課
〒883-8555
日向市本町10番5号
☎0982-52-2111
■印刷/(有)第一印刷

(K)